H23　WIN

CMnavi

NO, 32

(社)日本建設機械化協会

中国支部

新しい年を迎えて

(社)日本建設機械化協会中国支部
支部長　河原能久

あけましておめでとうございます。

平成23年の新春を迎え、皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

昨年は、2008年秋のリーマン・ショック以降の世界経済危機や一昨年の政権交代のような大きな出来事はありませんでしたが、これらの影響か、依然として先行きの見えてこない不安定な１年であったと思います。

平成22年度の公共事業関係予算も前年度比約18％の削減でスタートし、その後の予備費の追加や先の補正予算等により、やや持ち直すかの期待もありますが依然として状態は厳しく、雇用不安や廃業といった状況が続くなか、平成23年度予算においても政府原案で前年度比５％減の緊縮予算となっております。

さらに、新卒者の来年度の就職内定率も最低の状態が続き、一部では内定取り消しといった事態も新聞等で報道がなされたことも記憶に残るところです。

また、昨年は台風の殆どが日本海を北上するというめずらしい年でもあったかと思います。

しかしながら台風の影響は殆どなかったものの、７月中旬の広島県・庄原市では時間雨量91ｍｍに及ぶ集中豪雨により大規模な土石流が発生し、死者１名の他75戸に及ぶ家屋等の全半壊の被害を受けたことはまだ記憶に新しいところです。当支部におきましては、中国地方整備局と「災害応急対策における協定」を締結しており、昨年はこの「協定」の主旨にのっとり「情報伝達訓練」を実施しました。幸い昨年は「訓練」が実戦となることはありませんでしたが、いつの年もそうあってほしいと願うところです。

昨年（2010年）の「今年の漢字」には、「暑」の文字が選ばれました。ネットを開くと、出てくるのはなんといっても○記録的な猛「暑」による熱中症被害の続出、○夏から秋まで長引く酷「暑」による熊の人里への出没、○チリ鉱山では「暑」い地中からの全員の生還、そして、○明るい話題となった「はやぶさ」の生還（地球への突入温度が１万度という「暑」さを越えて）等々が挙げられていますが、我々の身近なところでは、やはり「暑（異常気象)」、「暑（熱い)」に関連する災害の発生や、社会資本への影響等が今後どのように変化し対応を要するかというところです。

一方で、「エコ（エコロジー・エコノミー)」についても、注目度が高かった年であったと思います。「環境」「経済」と両面から、今後の国内経済を活性化させる分野として、特に「環境」では建設機械等の「排ガス規制」や「ハイブリッドエンジン」、「エネルギー」に関しては、「太陽光発電」「燃料電池」などの「新技術」が国内経済を牽引して欲しいと願うところです。

(社)日本建設機械化協会中国支部においては、建設施工システムの活用・高度化を推進し、「建設生産性の向上」「建設コスト縮減」「品質確保の促進」などの調査研究活動のための体制強化やサービス向上に寄与するため、各種講習会・研修会等を開催しているところです。

社会情勢が大きく変化し法人改革も実施されますが、日本建設機械化協会としても、「真」の必要性、あり方等について議論し「改善」「改革」を図ることとしておりますので、会員の皆様方をはじめ、関係各位のご指導ご鞭撻をお願いするところです。

新しい年「平成23年」が、希望に満ちた年となりますよう、また、「安全」で「安心」して暮らせる、そして「平和」な年でありますことを祈念し年頭のご挨拶と致します。

平成23年１月

中国地方整備局との懇談会を開催

(社)日本建設機械化協会中国支部では去る11月24日（水）八丁堀シャンテにおいて国土交通省中国地方整備局と懇談会を開催しました。

冒頭、河原支部長が「中国支部では、会員や会員以外の一般も含めた幅広い技術者を対象に情報化施工講習会を開催し、「情報化施工技術」の普及と促進に努めているなかで、本日は、支部活動の活性化に向けたアンケート調査結果や、日頃より会員が抱える諸課題や要望等について整理し、公共工事の品質確保をはじめ幾つかの課題を用意した。現下の厳しい状況のなかで、このような懇談会の場で意見交換ができることは、会員にとっても非常に意義深いことであり、今後の支部活動の活性化に繋がると考えている」と挨拶しました。

その後、中国地方整備局の尾藤企画部長からは、「庄原市での豪雨災害や公共事業関係予算等の状況について概況を話されると共に、事業執行にあたってのパートナーシップの確立や、低入札対策、地元企業の育成などの施策を展開していることを強調された他、「情報化施工技術」の推進に関連し、21年度は管内で12工事であった試行工事も今年度は現在のところ24工事を予定しており、厳しい状況のなかで明るい話題である」と挨拶されました。

議事に移ってからは、支部の各部会から提案議題の説明に続き、整備局の各担当官より説明がなされた後の意見交換では予定時間を超える議論が交わされました。

なお、中国支部より提案した議題は次のとおりです。

1，公共工事の品質の確保について

1）「ワンデイ・レスポンス」や「三者会議」等の一層の推進

2）適正な競争参加資格の選択について

3）建設機械施工技士制度の活性化について

4）機械設備（修繕）工事及び維持管理業務について

2，その他の事項について

1）官民共同開発の今後の展開について

3，その他資料

1）災害時における「中国地方整備局所管施設応急対策業務」について

挨拶される尾藤企画部長

挨拶される河原支部長

土木機械設備技術研修会を開催

岡山市中心部を流れる旭川の放水路として建設された百間川の治水計画の見直しにより、新たに建設（増築）事業が進められている百間川河口水門及び倉敷市内の交通混雑緩和のため進められている国道２号の立体化事業について、国土交通省岡山河川事務所ならびに岡山国道事務所のご協力を頂き、技術研修会を開催しました。

百間川河口水門は、既存の引き上げ式ローラーゲートに加え、新しいタイプのライジングセクターゲートが３門設置され、放水路の治水効果の向上が目的とされています。

現在、下部（駆体）工事が完了し、上部（ゲート）工事が最盛期であり、中国地方初のタイプで規模的にも日本で最大となる新しい技術に参加者の関心も一層高いものでした。

立体化事業では、少数主桁構造やPCコンポ橋の施工など種々の異なるPC上部工の構造が比較できるなど技術研修にふさわしい内容でした。

○日時：平成22年11月２日（火）

○場所：岡山市内及び倉敷市内

○参加者33名

○研修内容：

１）百間川河口水門ゲート増設工事

①場　所　岡山市中区沖元地先

②工事内容：

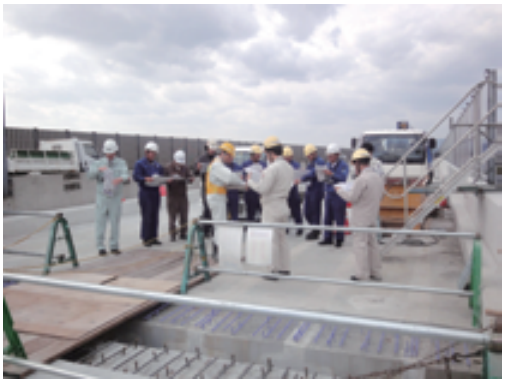
＊扉　　体：ライジングセクターゲート

（純経間33.4m×扉高6.9m×３門）

＊開閉装置：油圧モータ・ラック式（片側４台駆動）

＊機側操作盤他付属設備１式

以上の土木機械設備の製作・据付工事



２）倉敷立体大西高架橋PC上部工事

①場　所　倉敷市中島～片島地内

②工事内容（上部構造）：

＊３～８径間連結ＰＣプレテンションＴ桁橋

＊３径間連結ＰＣコンポ橋

３）研修参加者のコメント（29名回答）

・最新のゲート形式を見る事が出来て良かったが、もう少し近くで見たかった。
　また、風が強く冷たかったので10月頃の実施が良い。

・もう少し詳しい説明が欲しかった。可能であればゲートの中が見たかった。

・現況の２車線の桁数と、４車線化の桁数（少数主桁）の差に関心が持てた。

○ご協力頂きました国土交通省の皆様有り難うございました。

情報化施工（体験セミナー）講習会を開催

去る11月18・19日の両日、中国支部で普及・促進を進めている「情報化施工技術」についての理解と技術力向上を目的としたセミナーを松江市において開催しました。

前日までの小雨も当日は陰を潜め、足元は多少悪かったもののまずまずの天候に恵まれ、参加者の熱気があふれた講習会でした。

今回の講習会は、25年度より一部の工種において工事施工への適用が一般化されることが公表され、「情報化施工技術」への取組がより重要性を帯びてきた状況から、山陰地区の発注者・会員・一般の方々を対象として、３次元データ入力を中心とした座学と情報化施工用の実機を使用した実習とによって、設計データの取扱い、使用機械・器具の特徴、メリット等について講習を行ったものです。

○情報化施工（体験セミナー）講習会（松江市:参加者38名）

１．講　話　情報化施工の現状と動向

２．座　学　情報化施工対応システムの詳細、施工までの流れと得られる効果について

３．実　習・３D-ドーザシステム体験

・３D-MC mmGPSシステム体験

・TS-GPS転圧管理システム体験

・土木用GPSシステム実測体験

・TSを用いた出来形管理システム実測体験

第21回　道路除雪講習会を開催

機械化協会中国支部で隔年で実施している「道路除雪講習会」を、今回は去る11月11日に鳥取市の県民ふれあい会館にて開催しました。

講習会の内容については、前回の松江市で実施した講習会アンケート結果等を基に除雪作業の初動的な対策で、また作業開始のタイミングが最も重要である凍結防止剤散布作業について重点を置き、さらにその作業実施に対する安全対策を含めた講義内容としました。

講習会終了後は、講習会に関するアンケートを実施し、多くの方から貴重な回答を頂きました。頂いたご意見等は、今後の道路除雪講習会及び他の講習会等に活かして行きたいと思います。

○第21回 道路除雪講習会

（参加者33名（うちアンケート回答29名））

１．講習会テーマ及び講師

①国・県の除雪の取り組み

：国土交通省鳥取河川国道事務所

②（除雪作業の）施工方法と作業のポイント

：㈳日本建設機械化協会中国支部

③除雪（凍結防止）作業の安全対策及び事故防止

：㈳日本建設機械化協会

新入会員紹介

CO.,LTD 総合建設業 M.TEC　株式会社 エム・テック

＜ 本 社 ＞〒105-0004 東京都港区新橋4-24-8　2東洋海事ビル
TEL 03-3437-6841　FAX 03-3437-2719
＜代 表 者 ＞代表取締役社長 松野 浩史
＜ U R L＞http://www.mtec-con.co.jp/
＜業務内容＞総合建設業
プレストレストコンクリート製品を扱った橋梁・耐震工事 他
橋梁、土木、建築、水道、造園、その他工事の企画、設計、施工、管理、請負
橋梁、土木、建築、水道、造園、その他工事に関する市場調査、情報の提供、ｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ業など

■西予上部工
工事名：交道改第85号の2
（主）宇和明浜線 地方道路交付金工事
発注者：愛媛県 南予地方局

■皇居休憩所
工事名：皇居外苑休憩所建築工事
発注者：国交省 関東地方整備局

会員紹介コーナー

未来に向かって 新たなる挑戦

SHiNKO Challenge & Innovation　新光産業株式会社

本　社 ／山口県宇部市大字際波1440番地　TEL 0836(45)1111
営業所 ／東京・広島・沖縄

事業部
建設事業部　建築・土木・橋梁・水門・クレーン・除塵機
機械事業部　化学機械・熱交換器・輸送機械・フランジ・クランプ継手・セラミックス研磨

浜田河川国道事務所　小谷川樋門

ス ケ ル ト ン
【はく落防止】NETIS登録番号CG-100024
【耐震】　NETIS登録番号CG-070014

国土交通省コーナー

機械設備点検整備業務に関する企業向け説明会の開催等について

中国地方整備局企画部施工企画課

中国地方整備局では、管内に設置している河川（ダムを含む）及び道路管理用機械設備について、良好な性能・機能維持を図るため、各種基準等に基づき、定期点検（年点検、月点検）、臨時点検及び機能維持のための簡易な整備を行う「機械設備点検整備業務」を各事務所等毎に発注しています。

また、不落・不調対策や企業の積極的な参画を促進するため、入札参加資格要件の緩和などの取組みを行い、品質の確保と競争性の向上を図ってきましたが、応札参加業者が少ない状況です。

そのため、新規参入し易い環境を整備する一つの取組みとして、①入札参加資格要件等の更なる緩和、②企業の方々向けに点検整備業務の概要や入札参加資格要件などに関する『説明会』を開催しました。

1.『説明会』の概要

◆日時　平成23年1月14日（金）14～15:00
◆場所　広島合同庁舎4号館
◆内容　①業務の概要
②業務の適用基準等
③業務の入札参加要件
④業務の落札決定及び履行
⑤業務の積算基準
⑥業務の発注予定ｽｹｼﾞｭｰﾙ　など
◆参加業者　約30社
※当日配布した資料は、中国地方整備局HPで公表（H23.1.17）しています。

2. 今回の入札参加資格要件等の緩和内容

◆入札参加資格　「役務の提供等」の格付けの適用を「A～D等級」に拡大
◆企業の実績　◇主たる設備が水門設備の場合
・平成8年度以降に、元請けとして水門設備及び類似設備の新設工事等（新設、追加、増設、更新、改造、修繕工事）の施工実績、元請け又は下請け（特定の機器の点検整備等は除く）として水門設備又は類似設備の点検整備の履行実績を有する者。
◇主たる設備が水門設備以外の場合
・平成8年度以降に、元請けとして主たる設備の新設工事等（新設、追加、増設、更新、改造、修繕工事）の施工実績、元請け又は下請け（特定の機器の点検整備等は除く）として主たる設備の点検整備の履行実績を有する者。
◆履行体制の確認　企業の実績が点検整備で下請けの場合、点検整備を履行するために必要な技術力を確保していること。

3. 落札決定及び履行

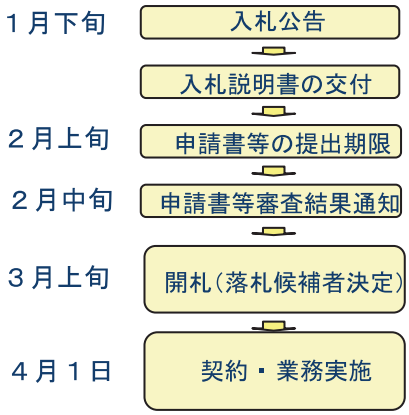
◆履行期間は、通常4月1日～3月31日。
但し、「管理技術者」の専任は求めない。
◆点検の時期・内容・回数は契約図書に明記。

4. 積算基準

◆「機械設備積算基準（案）」の第Ⅱ編「機械設備点検・整備積算基準」による。
※国土交通省HPで公表しています。

5. 発注予定スケジュールなど

◆通常、一般競争入札方式で実施し、右記フロー参照。



注）但し、公告時期等は異なる場合があります。

6. 問合せ先

◆中国地方整備局 企画部 施工企画課
課長補佐（玉田）、機械設備係長（小島）
TEL：082－221－9231（代表）

国土交通省コーナー

情　報　化　施　工　の　推　進

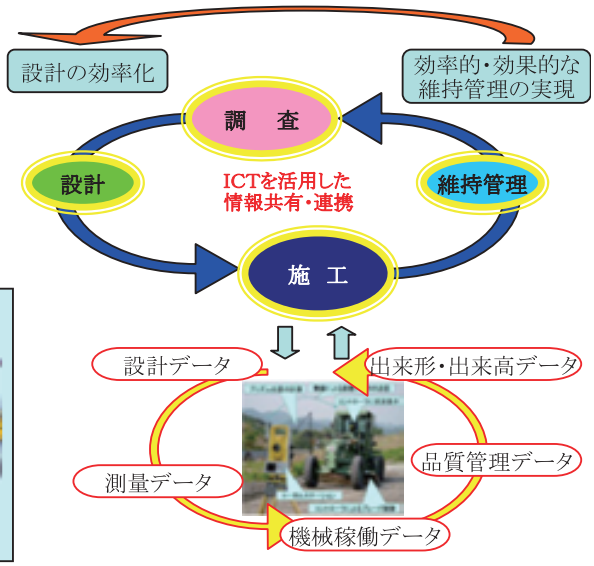
中国地方整備局
企画部　施工企画課

情報化施工のサイトを開設しました！　http://www.cgr.mlit.go.jp/ict/index.htm

情報化施工の普及・情報発信を目的に、中国地方整備局「情報化施工サイト」を開設しました。このサイトでは、情報化施工についての情報を皆様と共有し、技術の活用に役立てていただくため、下記の情報を提供しています。

☆『情報化施工』の取り組み状況
　中国地方整備局での情報化施工実施工事の情報等
☆『情報化施工』の実施に必要な要領等
　出来形管理要領、監督検査要領等
☆『情報化施工』に関連するサイト
☆報道発表資料

『情報化施工のイメージ』



施工管理データを搭載したトータルステーションによる出来形管理要領(案)

施工管理用データを搭載したトータルステーションによる出来形管理要領(案)が定められました。
トータルステーションを用いた正確かつ確実な出来形管理を定めたもので、従来の巻き尺、レベルを用いる方法に比べて以下の特徴があります。

(1) 計測の準備作業が軽減でき、また計測時間も短いために出来形管理が効率化する。
(2) 計測から帳票作成までシステムでデータ処理できるので帳票作成が効率化し、データ転記のミスを防ぐ事ができる。
(3) 出来形計測と同時に現場で設計値と比較できるので出来形不足などが迅速に発見でき、速やかに施工にフィードバックできる。

【出来形管理の主な手順】

請負者のTSによる出来形管理作業フロー	請負者の実施項目
施工計画書	①施工計画書の作成
準備工	②機器の手配 ・基本設計データ作成ソフトウェア ・出来形管理用TS ・出来形帳票作成ソフトウェア
①工事測量 ②工事基準点設置 ③設計照査 工事測量による修正	③工事基準点の設置
基本設計データ入力	④「基本設計データ作成ソフトウェア」による基本設計データの作成
(施工)	
出来形計測	⑤「出来形管理用TS」による出来形計測
出来形帳票作成等	⑥「出来形帳票作成ソフトウェア」による出来形管理資料の作成 ⑦電子成果品の納品 ⑧出来形管理用TSによる現地検査

お知らせコーナー

今後の行事予定

日　時	区　分	行　　事　　名	内　　容	備　考
平成23年 3月9日(水)	講習会	建設技術講習会 会　場：広島県民文化センター 定　員：80名	議題：「より排出ガスの少ない建設機械の使用について」 国土交通本省　担当官 「土木工事における業務効率化の取り組みについて」 国土交通省中国地方整備局　担当官 ※参加申込み受付中（平成23年2月28日(月)まで）	会　員 及び 一　般
平成23年 4月上旬	委員会	運営委員会（上期） 会　場：未定	・平成22年度事業報告(案)及び同会計報告(案)について ・平成23年度事業計画(案)及び同収支予算(案)について ・平成23年度優良技術員表彰について	委　員
平成23年 5月19日(木)	総　会	第60回支部通常総会 会　場：ホテルセンチュリー21広島	・平成22年度事業報告(案)及び同会計報告(案) ・平成23年度事業計画(案)及び同収支予算(案)	会　員
		平成23年度優良技術員表彰	・平成23年度優良技術員表彰 （運転・整備部門、管理部門、技術開発部門） ※推薦候補者の募集中（平成23年3月10日(木)まで）	会　員
		記念講演会	・第60回支部通常総会「記念講演会」 講　師：未定	会　員

支部会員を募集しています。

(社)日本建設機械化協会中国支部では、設立目的・主旨に賛同し共に事業活動を展開していく会員を随時募集しています。会員になれば、支部の実施する事業活動等に優先して参加出来るほか、種々の情報収集や協会発行の図書等が割安で入手可能となります。

詳しい事業内容等は下記のホームページをご覧頂くか、または支部事務局へお問い合わせ下さい。

○(社)日本建設機械化協会中国支部
730-0013 広島市中区八丁堀12-22　築地ビル402
TEL 082-221-6841　　FAX 082-221-6831
E-mail：jcma-chugoku@mx41.tiki.ne.jp
ホームページhttp//ww41.tiki.ne.jp/~jcma-chugoku/

発行図書のご案内

［よくわかる建設機械と損料　2010］

(社)日本建設機械化協会ではこの度「損料本」（損料算定表）の構成・用語の意味と損料補正方法などを平易な表現で解説し、「損料本」に掲載の、ほぼ全ての機械の概要と特徴を解説した［よくわかる建設機械と損料　2010］を発行しました。

支部にて販売しておりますので【「建設機械等損料表」（損料本）の解説書】として、十分にご活用下さい。なお、支部ホームページ（上記アドレス）からも申込み可能です。

★価格（税込）5,460円（一般）、4,620円（会員）

編集後記

早いもので21世紀になって、今年でちょうど干支が一回りすることになります。

今年の干支は「卯」で、卯の干支の由来は兎の穏やかな様子から家内安全、跳躍する姿から飛躍を表しているそうです。また、「草木が地面を覆う様子」を意味する「茂（ぼう）」に由来するそうで、昨年の干支「寅」は春が来て草木が生ずる状態を表し、今年の兎では、草木が地面を覆う。と、そんなつながりがあるようです。こんな干支の由来にあやかって、世の中がよい方向（景気）に向かってもらいたいものです。予報では、今年の桜の開花は例年より少し早いようで、とりあえず景気よく花見といきたいものですネ。　（Tko）

平成23年２月発行　　編集・発行　(社)日本建設機械化協会中国支部機関誌編集委員会
〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22　築地ビル402　TEL 082-221-6841　FAX 082-221-6831
http://www.jcmanet.or.jp/chugoku/　E-mail jcma-chugoku@mx41.tiki.ne.jp